
「東京マガジンバンクカレッジパートナー通信」は、東京都立多摩図書館とカレッジパートナーの皆様の情報共有と交流を図る通信です。

東京マガジンバンクカレッジの事業や雑誌を巡る話題を電子メールでお届けします。

<目次>

- 【1】アンケートへのご協力ありがとうございました
 - 【2】東京マガジンバンクカレッジ多摩セクション講演会 & 地域散歩を開催します
 - 【3】企画展示「競技者たち～Athletes～」関連講座を実施します
 - 【4】最近の雑誌記事から
-

【1】アンケートへのご協力ありがとうございました

「東京マガジンバンクカレッジパートナー通信 2019 夏臨時増刊」(令和元年 7 月 18 日発行)でお願いしたアンケートに対し、24 名の方から回答をいただきました。

ご協力くださった皆様ありがとうございました。

結果は改めて本通信でお知らせいたします。

なお、休館日を知りたいというご要望にお答えし、本号から末尾に開館日カレンダーへのリンクを掲載することといたしました。

これからもカレッジ活動へのご協力、よろしくお願ひします！

【2】東京マガジンバンクカレッジ多摩セクション講演会 & 地域散歩を開催します

◆講演会「武蔵国の中枢としての『多摩の魅力』—教科書と史跡・文化財から古代の多摩を読み解く—」

◆地域散歩「武蔵国の国分寺と国府を訪ねて」

平成 29 年度近世編、平成 30 年度中世編の講演会 & 地域散歩で人気を博した仙田講師による、多摩地域の歴史を紐解くシリーズの古代(奈良時代・平安時代)編です。

多摩地域(特に国分寺市・府中市)は、現在の東京都や埼玉県多くの地域と神奈川県北東部が属していた武蔵国の中心地でした。

講演会では、教科書などで学んだ日本史の知識を史跡・文化財と結びつけ、古代の多摩の歴史をたどります。また、地域散歩では、今でも古代の史跡や文化財が数多く残る国分寺市・府中市を講師と共に巡り、いにしへの多摩の歴史を体感していただきます。

■日時: 令和元年 10 月 6 日(日)

◇講演会:午前9時30分から午前11時30分まで

◇地域散歩:午後1時から午後5時まで

■講師:仙田 直人(せんだ なおと)氏

品川女子学院校長、前東京都立三鷹中等教育学校長

■会場

◇講演会:東京都立多摩図書館 2階 セミナールーム

◇地域散歩:国分寺市・府中市内 (少雨決行、荒天中止)

【主なコース(予定)】(すべて徒歩、約8km)

東京都立多摩図書館前(集合)→東山道武蔵路跡→国分寺薬師堂→武蔵国分寺跡資料館【有料】→武蔵国分寺跡→武蔵国分尼寺跡→武蔵国府跡→ふるさと府中歴史館→大國魂神社本殿・宝物殿【有料】→国司館と家康御殿史跡広場→高安寺→分倍河原駅(解散)

■定員

◇講演会のみ参加:90名

◇講演会・地域散歩参加:30名

※応募多数の場合は抽選

※地域散歩のみのお申込み不可

※講演会は、参加無料。地域散歩では、交通費や施設の入館料等は自己負担

■申込方法

(1)東京都立図書館ホームページ

https://www.library.metro.tokyo.jp/guide/event/seminar/5295_20190807.html

(2)電話 042-359-4020

(3)東京都立多摩図書館 1階 相談カウンター

■申込締切

令和元年9月23日(月)

【3】企画展示「競技者たち～Athletes～」関連講座を実施します

当館1階展示エリアにおいて、9月4日(水)まで、企画展示「競技者たち～Athletes～」を開催中です。開幕間近のラグビーワールドカップ2019™や、来年に迫った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の期待の星、記憶に残る往年の名選手など、“競技者”に焦点を当てて当館の豊富な雑誌等を展示しています。

関連イベントとして、ツアー付き検索講座を実施します。

展示会場、閲覧室、書庫等でスポーツ関係雑誌をたっぷりご覧いただいた後、オンラインデータ

ベースでアスリートの雑誌記事の調べ方をご案内します。

お申込みは不要です。下記日時に、当館 1 階エントランスにお集まりください！

■日時: 令和元年 8 月 21 日(水) 午後 2 時から 3 時まで

【4】最近の雑誌記事から

まもなく終戦の日がやってきます。第二次世界大戦中、空襲により日本の図書館は多くの資料を失いました。しかし、疎開により守られた資料も少なくありません。

今回は、資料疎開の歴史を伝える記事をご紹介します。

■『国立国会図書館月報』699・700号(2019年7・8月) 国立国会図書館

「本の疎開—8月15日を超えて」(今月の1冊 国立国会図書館の蔵書から)

国立国会図書館の前身である帝国図書館の事務文書『第四次図書地方疎開二関スル覚書』が紹介されています。

帝国図書館では、戦局が厳しさを増した昭和18年11月、最初の資料疎開を行い、県立長野図書館に貴重典籍類等に移しました。『第四次図書地方疎開二関スル覚書』は、昭和20年6月から8月までの山形県への疎開計画などが記された文書です。この計画は、資料発送当日に終戦を迎え、いったん中止となったものの占領軍の接收を避けるため続行が決定されたと書かれています。

困難をおして疎開事業を行ったのは帝国図書館ばかりではありません。都立日比谷図書館(都立中央図書館・都立多摩図書館の前身)、富山県立図書館、水戸市立図書館の事例も紹介されています。罹災を免れた帝国図書館と異なり、これらの図書館は疎開できなかった多くの資料を失いました。

戦時下、占領下において、空襲だけでなく思想指導や没収など様々な困難に遭遇しながらも資料を守り抜いた人々に思いを馳せつつお読みいただければと思います。

(開架の書架番号「A05」、分類番号「06 図書館」の棚にあります。)

なお、都立図書館の疎開事業については、『ひびや 東京都立中央図書館報』21巻2号 通巻128号(1979年3月)等に関連記事があります。併せてお読みいただきたいと思います。

—編集後記—

梅雨が明け、本格的な暑さが到来しました。当館入口カフェの外にはためく氷旗を見ると、夏が来た！となぜか開放的な気分になります。

本号では、東京マガジバンクカレッジ多摩セクション講演会&地域散歩の開催等についてお知らせしました。お馴染みの仙田講師による講演会・地域散歩です。申込みをお待ちしています。

東京マガジバンクカレッジの活動を一層充実させるため、今後ともパートナーの皆様のカレッ

イベントへのご参加と様々な機会におけるお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

当メールマガジンに対するご意見・ご感想は下記までお寄せください。

－編集・発行－

東京都立多摩図書館東京マガジンバンクカレッジ担当

〒185-8520 国分寺市泉町2-2-26

TEL:042-359-4020

E-Mail: S900044@section.metro.tokyo.jp

ホームページ: <https://www.library.metro.tokyo.jp>

開館日カレンダー: <https://www.library.metro.tokyo.jp/calendar/>
